

ESG レポート 2025

野村ブラックロック 循環経済関連株投信

Aコース(米ドル売り円買い)

Bコース(為替ヘッジなし)

愛称: ザ・サーキュラー
追加型投信 / 内外 / 株式



NOMURA

野村アセットマネジメント

はじめに

「野村ブラックロック循環経済関連株投信(愛称:ザ・サーキュラー)」はサーキュラーエコノミー(循環経済)関連企業に着目し、収益の獲得を目指すファンドです。このESG^{*1}レポートでは、サーキュラーエコノミー関連企業がどのようにサーキュラーエコノミーの発展に貢献しているかについて、数字や企業例などを用いてご紹介します。

サーキュラーエコノミーとは、持続的に再生し続けられる経済環境を指す概念のことをいいます。これまでの「リサイクル」といった資源環境の効率化の延長ではなく、持続可能な経済活動の発展および環境負荷低減の両立を実現するための根本から異なる経済モデルといえます。

新たな経済モデル サーキュラーエコノミー



出所:各種資料を基に野村アセットマネジメント作成

上記は「サーキュラーエコノミー」の説明の一部であり、全てを網羅するものではありません。将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、イメージ図です。

ファンドの実質的な運用はブラックロック^{*2}が行ないます。同社はエレン・マッカーサー財団^{*2}が有するサーキュラーエコノミーに関する専門的な知見を活用しつつ、サーキュラーエコノミーに関連する①変化に適応する企業 ②変化を促進する企業 ③変化の恩恵を受ける企業の3つの分野に投資を行ない、投資収益の獲得および社会的課題の解決を目指します。

当社は、お客様の資産形成に貢献し、同時に持続可能で豊かな社会の実現を目指しています。今後とも変わらぬご愛顧のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

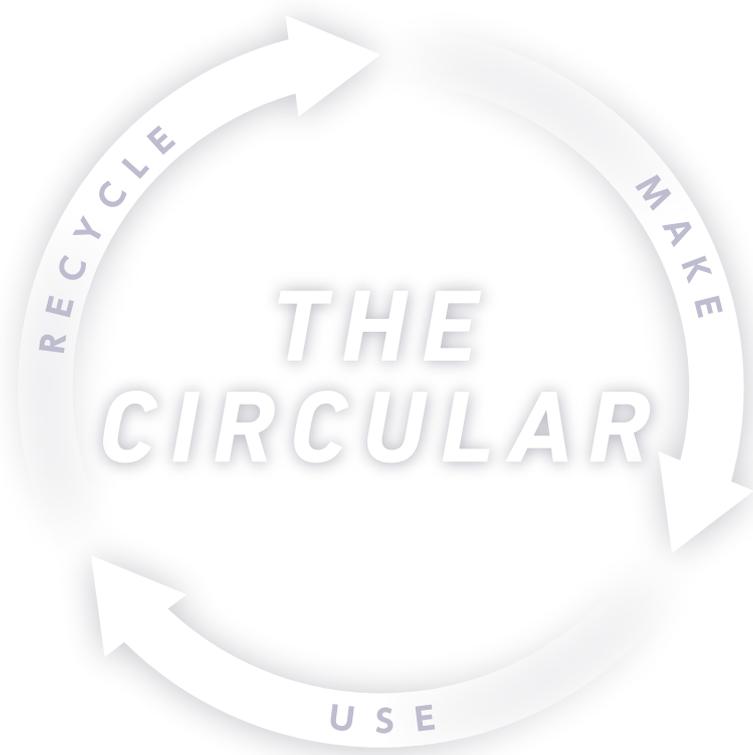
野村アセットマネジメント株式会社

^{*1} Environment(環境)、Social(社会)およびCorporate Governance(企業統治)の総称です。

^{*2} ブラックロックとエレン・マッカーサー財団については、3ページをご参照ください。

3つの分野は資料作成時点で選定されたファンドが着目する分野であり、これ以外の分野に投資する場合があります。なお、今後変更となる可能性があります。資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

当資料でご紹介した銘柄はサーキュラーエコノミーへの貢献をご説明するために掲載しており、資料作成時点で投資していることを保証するものではありません。



INDEX

ブラックロック、エレン・マッカーサー財団のご紹介	03
ESG、サーキュラーエコノミーの観点を用いた運用	04
サーキュラーエコノミーによって、 4つの社会的課題解決へ	05
サーキュラーエコノミー関連企業のご紹介	06
<ご参考>サステナビリティ関連指標(ESGの観点から)	07
ファンドの特色	08
投資リスク	09
お申込みメモ／当ファンドに係る費用／課税関係 他	10

ファンドの実質的な運用会社

BlackRock. ブラックロックのご紹介

ブラックロックは、米国・ニューヨークに本拠地を置く世界最大級の資産運用会社であり、1988年の創業以降、業界のリーディングカンパニーとして成長を続けてきました。世界各国に拠点を擁し、株式や債券など伝統的な資産から、ヘッジファンド、実物資産にいたるまで、あらゆる資産をカバーし、世界の主要な年金基金や機関投資家のお客様を中心に、幅広い運用プロダクト、ソリューションを提供しています。

当ファンドの運用体制



エヴィ・ハンブロ
(マネージング・ディレクター)

ファンダメンタル株式運用部門テーマ型
およびセクター別運用のグローバル責任者
兼天然資源株式チーム責任者ポート
フォリオ・マネージャー



スマナ・マノハー
(ディレクター)

ファンダメンタル株式運用部門テーマ型
運用リサーチ責任者ポートフォリオ・
マネージャー

充実したリソースが運用チームをサポート

14名のポートフォリオ・マネージャー(内サーキュラーエコノミーの専任運用担当3名)

アクティブ株式部門 世界全体で、220名を超える運用プロフェッショナルのリソースを活用

上記のファンドの運用体制等は、変更となる場合があります。



エレン・マッカーサー財団のご紹介

「エレン・マッカーサー財団」は、英国ワイト島を本拠地とし、2010年9月に設立されたサーキュラーエコノミーを推進する財団です。ブラックロックは同財団のグローバルパートナーです。グローバルパートナーには、他にGoogle、ユニリーバ、ダノン、フィリップス、H&Mなどの企業が名を連ねています。また、同財団が主導するプラスチックをはじめとした循環経済に係るグローバルコミットメントには、500を超える機関・企業が署名しており、その署名機関・企業全体で世界で生産されているプラスチック包装の2割を占めています。

エレン・マッカーサー財団は「情報提供パートナー」として、サーキュラーエコノミーの定義を明確化し、各企業がサーキュラーエコノミーにどのように、どの程度関わっているのかを測定し、運用チームに報告しています。

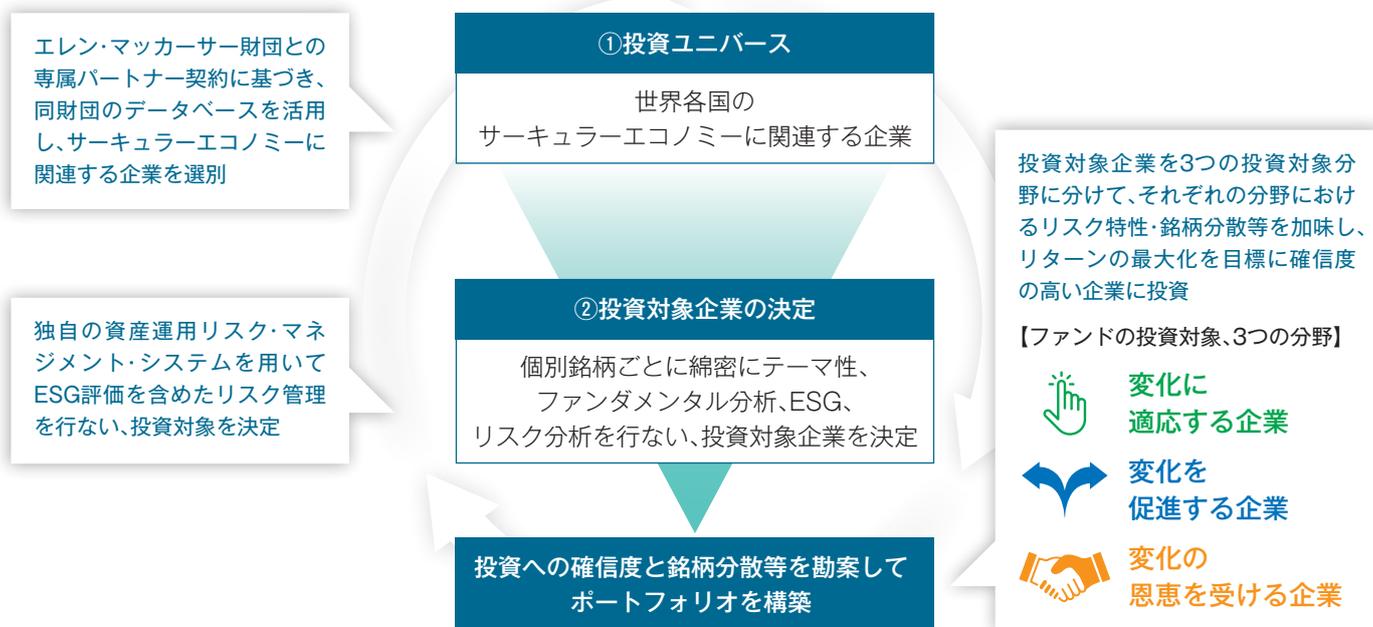
2025年2月現在
出所: ブラックロックの情報提供などを基に野村アセットマネジメント作成

上記は、過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。



ESG、サーキュラーエコノミーの観点を用いた運用

ファンドのポートフォリオの構築プロセス



ファンドが着目する3つの分野

変化に 適応する企業

持続可能な事業を行なう事を公言する企業、再生プラスチックの使用を公言する企業

特徴 サークュラーエコノミーを意識した企業は市場でのシェアを獲得し、業界の牽引役になる傾向

例えば 衣服や食料品など生活に密接に関わる製品を循環性を意識し生産する企業
人々の生活を豊かにするためのサービスを提供する企業

変化を 促進する企業

原材料の効率的な使用や環境汚染防止に対して、革新的なソリューションを提供している企業

特徴 革新的なソリューションを持つ特殊化学製品、資本財、テクノロジーセクターの企業が中心

例えば リサイクルに関わる企業
水や再生可能エネルギーに関わる企業
環境に配慮した持続可能な社会を実現するのに役立つ企業

変化の恩恵を 受ける企業

サーキュラーエコノミーを核としたビジネスが既に確立されている企業

特徴 循環性を意識した事業を行っていない企業よりも高い収益を上げる傾向

例えば 再利用可能な包装資材を加工・販売する企業
環境負担の少ない素材で作られた製品を生産する企業

出所:ブラックロックの情報提供などを基に野村アセットマネジメント作成

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。上記の「ファンドが着目する3つの分野」は記載時点で選定されたものであり、これ以外の分野に投資する場合があります。なお、今後変更となる可能性があります。



サーキュラーエコノミーによって、4つの社会的課題解決へ

2015年9月の国連サミットにおいて「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げられ、全世界規模で社会的課題を解決するという決意が示されました。

サーキュラーエコノミー分野への投資を通じて、17の目標のうち、目標6・7・9・11・12・15の社会的課題の解決に貢献する事が期待されます。

SDGsって、何の略？

Sustainable = 持続可能な
Development = 開発
Goals = 目標

2016年～2030年 持続可能な開発目標(SDGs)とサーキュラーエコノミー

全ての国の国際目標・国連全加盟国で実施

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	6 安全な水とトイレを世界中に	● 全ての人が安全で手頃な価格の飲料水、衛生施設、そして適切な衛生環境を確保する <関連するサーキュラーエコノミーのビジネスモデル例> 水処理のマネジメントによる効率性の向上
4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	● 再生可能エネルギーの普及とエネルギー効率の向上を目指す <関連するサーキュラーエコノミーのビジネスモデル例> 断熱材や電池など、クリーンエネルギー解決策に繋がる素材・技術の提供
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	● 持続可能な産業化と技術革新を促進し、インフラの整備を通じて経済成長と人々の生活の向上を強化する <関連するサーキュラーエコノミーのビジネスモデル例> 設備のレンタルおよび物や機械の再販
10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	11 住み続けられるまちづくりを	● すべての人々が、適切で安全かつ安価な住宅とサービスを確保する <関連するサーキュラーエコノミーのビジネスモデル例> 廃棄物管理、埋立処分の削減、インフラシェアリング
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	12 つくる責任 つかう責任	● 製品ライフサイクルを通じて化学物質やすべての廃棄物の環境に配慮した管理を達成し、大気、水、土壌への排出を大幅に削減することにより、健康や環境への悪影響を最小限に留める <関連するサーキュラーエコノミーのビジネスモデル例> リサイクルと再利用、シェアリングプラットフォーム、リース
16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	15 陸の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	● 森林の保全、砂漠化の防止、生物多様性の保護など、陸上生態系の保全と持続可能な利用を目標とする <関連するサーキュラーエコノミーのビジネスモデル例> 紙の製造における持続可能な森林管理と再生農業の実現

出所:ブラックロックの情報提供などを基に野村アセットマネジメント作成

上記は「サーキュラーエコノミー」の説明の一部であり、全てを網羅するものではありません。将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。



サーキュラーエコノミー関連企業のご紹介



変化に
適応する企業

CRH



企業概要

北米と欧州を中心に世界28カ国に拠点を持つ建設資材メーカー。道路や公共インフラ、商業ビルプロジェクト等向けに、骨材、セメント、生コンクリート、アスファルト、舗装・建設サービスの製造・販売を行なう。

サーキュラーエコノミーの観点

同社は建築環境と社会が抱える3つの世界的課題(水、循環性、脱炭素化)を解決するソリューションを提供し、持続的な建築環境の構築を目指しています。今後もサーキュラーエコノミーに関する規制や企業の取り組みが促進していくにつれ、同社のソリューションの必要性が高まり、収益拡大に寄与することが見込まれます。

139億米ドル

サステナビリティ強化に資する
プロダクトのグループ売上高
(2023年)

NO.1

北米最大の
リサイクル業者
(2023年)



変化を
促進する企業

UPM キュンメネ



企業概要

フィンランドに拠点を置く林産企業。石油由来の製品に代わる再生可能製品として、世界各国で製紙・製材業やバイオ燃料、バイオケミカルなどの幅広い製品の開発・生産を行なう。

サーキュラーエコノミーの観点

同社は製品の製造過程において、環境保全とCSR(企業の社会的責任)の順守を徹底しています。主に気候、水質、生物多様性などの分野において厳格な基準を設けて、原材料の調達や製品づくりを行なっています。加えて、2030年までに埋立地への固形廃棄物をゼロにすることや、廃棄物の焼却に利用する燃料を100%再生可能エネルギーとするなどの目標を掲げています。

-45%

化石燃料によるCO₂排出量
(2023年実績、
2015年対比)

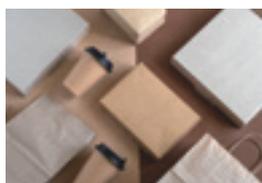
-39%

同社製品の
水質汚染指標*
(2023年実績、2008年対比)
*COD: 化学的酸素要求量



変化の恩恵を
受ける企業

グラフィック・パッケージング



企業概要

米国に本拠点を置く再生可能な紙パッケージの製造・販売を行なう企業。パッケージング材料となる板紙の製造、包装機械の販売、紙器の製造など多岐にわたってパッケージングに関わる事業を展開。

サーキュラーエコノミーの観点

2030年までに再生可能エネルギーの活用を50%にすることや、持続可能な方法で調達された森林資源の活用を100%にするなど、持続可能な製造工程にすることを宣言しています。パッケージング材料に再生可能な森林から採取するバージンパルプだけを使用したり、紙パッケージの製造工程で伐採した分の数倍の植樹を行なうなど、環境負荷低減に貢献しています。

約4.5億個

欧州でプラスチック容器を
紙の容器に置き換えた個数
(2023年実績)

約6.65億個

北米でコップをプラスチック
から紙製に置き換えた個数
(2023年実績)

出所: ブラックロックの情報提供などを基に野村アセットマネジメント作成

上記はサーキュラーエコノミーに関連する銘柄の紹介を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。また、特定銘柄の売買などの推奨、価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。写真はイメージです。

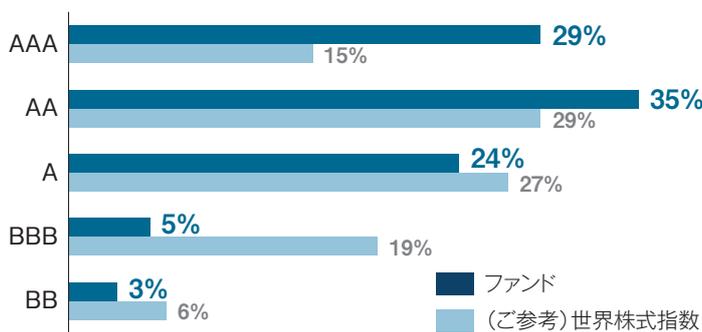


<ご参考>サステナビリティ関連指標(ESGの観点から)

ファンドの運用プロセスにおいて、サステナビリティ(持続可能性)は考慮すべき重要な事項として組み込まれています。

ブラックロックは、サステナビリティを考慮することが投資家に対して長期的によりよいリターンを提供できるという考えに基づき、新たな投資の基軸としています。

ファンド組入銘柄のESG格付け比率(抜粋)



ファンドのA格以上の保有比率は約9割であり、世界株式指数を上回っています。

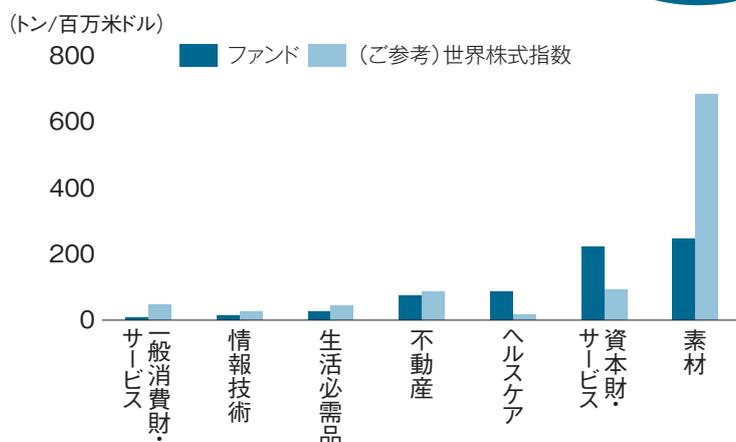
ファンドのESGスコア

	ファンド	(ご参考)世界株式指数
ESG総合スコア	7.79	6.82
E(環境)スコア	6.73	6.67
S(社会)スコア	5.84	5.19
G(企業統治)スコア	6.48	5.63

総合スコア・個別スコア共に、ファンドは世界株式指数を上回る結果となりました。

セクター別炭素排出強度*

E(環境)の
典型例の1つ



資本財・サービスとヘルスケアを除いた全てのセクターにおいて、ファンドは世界株式指数より炭素排出強度が低い結果となりました。

*単位当たりのCO₂排出量(当資料では売上高ベース)セクターはGICS(世界産業分類基準)に基づきます。ファンドで保有していないセクターは表示していません。

・ ESG格付けとスコアはMSCI ESGリサーチのデータを活用します。企業のE・S・Gにおけるリスク/機会のエクスポージャー、取組みをテーマや詳細項目ごとにスコアを算出し、格付けを付与します。スコアは0~10、格付けはAAAからCCCまで7段階があります。

2024年9月末時点、当ファンドの投資対象である外国投資法人のデータを使用した指数については、8ページ<当資料で使用した指数について>をご参照ください。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

ファンドの特色

1 新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を実質的な主要投資対象^{*1}とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

※1 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

◆外国投資法人である「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

<外国投資法人(「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」)の主な投資方針>

- 新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とし、トータル・リターンの最大化を目指して運用を行なうことを基本とします。
- ファンドはサーキュラーエコノミー(循環経済)^{*2}の恩恵を受ける、またはサーキュラーエコノミーの発展に貢献すると考えられる株式に投資を行ないます。

※2 サーキュラーエコノミー(循環経済)のコンセプトは、廃棄物の最少化およびリサイクルや再利用を活性化させるために製品やシステムの再設計を促進すること、とされています。

2 ファンドは投資対象とする外国投資法人において、米ドル売り円買いの為替取引を行なう「Aコース」と対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行なわない「Bコース」から構成されています。また、「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
Aコース (米ドル売り円買い ^{*3})	ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2ヘッジ (円建て)
Bコース (為替ヘッジなし)	ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I2 (円建て)

※3 Aコースにおける「米ドル売り円買い」とは、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。

<当資料で使用した指数について>

世界株式指数：MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス

- MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

投資リスク

■ 当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

《基準価額の変動要因》 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

◆**株価変動リスク** ファンドは実質的に株式等に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の株式等の価格変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。

◆**為替変動リスク** 「Aコース」が投資する「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I 2 ヘッジ(円建て)」においては、原則として当該クラスの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことにより、米ドル建ての資産については為替変動リスクが低減しますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、米ドル建て以外の外貨建資産については、当該通貨と米ドルとの間の為替変動の影響を受けます。例えば、ユーロ建資産を保有している場合には、米ドルに対するユーロの為替変動の影響を受けます。この場合、ユーロが米ドルに対して安くなった場合には、基準価額が下落する要因となります。なお、円金利が米ドルの金利より低い場合、為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)がかかるため、基準価額の変動要因となります。

「Bコース」が投資する「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドークラス I 2(円建て)」においては、原則として対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行わないため、為替変動の影響を受けます。

特に新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いことから、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

◆**ESG投資に関するリスク** ファンドは、実質的に投資対象銘柄のESG特性を重視してポートフォリオの構築を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い銘柄の株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。

当資料について

- 当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

お申込みに際してのご留意事項

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ファンドの分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

お申込みメモ／当ファンドに係る費用／課税関係 他

お申込みメモ

●信託期間	Aコース 2030年8月6日まで (2020年8月24日設定) Bコース 無期限(2020年8月4日設定)
-------	---

●決算日および 収益分配	年2回の毎決算時(原則、2月および8月の 6日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の 方針に基づき分配します。
-----------------	---

ご 購 入 時	●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	●ご購入代金	原則、ご購入申込日から起算して7営業日目 までに販売会社にお支払いください。
	●ご購入単位	一般コース(分配金を受取るコース): 1万円 以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース(分配金が再投資 されるコース): 1万円以上1口単位または 1万円以上1円単位

*原則、ご購入後にコースの変更はできません。
*詳しくは、野村証券にお問い合わせください。

ご 換 金 時	●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額
	●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して7営業日目 から販売会社でお支払いします。
	●ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。

そ の 他	●スイッチング	「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが 可能です。
	●お申込不可日	販売会社の営業日であっても、お申込日 当日が以下のいずれかの休業日と同日の 場合または12月24日である場合には、原則、 ご購入、ご換金およびスイッチングの各 お申込みができません。 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルグの銀行 ・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドン証券取引所

課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに 換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に 対して課税されます。 ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンド においてNISAを利用した場合には課税されません。 「Bコース」は、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理 勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる 場合があります。「Aコース」は、NISAの対象ではありま せん。なお、税法が改正された場合などには、内容が 変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問 い合わせください。
------	---

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認
ください。

(委託会社)

野村アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]

当ファンドに係る費用

(2025年4月現在)

●ご購入時手数料

ご購入代金*に応じてご購入価額に以下の率を乗じて得た額

ご購入代金	ご購入時手数料率
1億円未満	<u>3.3%(税抜 3.0%)</u>
1億円以上5億円未満	<u>1.65%(税抜 1.5%)</u>
5億円以上	<u>0.55%(税抜 0.5%)</u>

※ご購入代金=ご購入口数×基準価額+ご購入時手数料(税込)
<スイッチング時>
ありません。

●運用管理費用(信託報酬)

ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。

- 純資産総額に年1.10%(税抜年1.00%)の率を乗じて得た額
- 実質的にご負担いただく信託報酬率(信託報酬に、ファンドが
投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加えた概算値)
年1.83%程度(税込)

●その他の費用・手数料

ファンドの保有期間中に、その都度かかります。
(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すこ
とができません。)

- ・組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料
- ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
- ・ファンドに関する租税 等

●信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)

ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様
がファンドを保有される期間等に応じて異なります
ので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費
用・税金」をご覧ください。

(受託会社)

野村信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル

☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>





お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

NOMURA
野村証券

商号：野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

NOMURA
野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

投資対象の外国投資法人の運用は

BlackRock